

「放射線像」とは—放射線を可視化する。

目に見えない放射能汚染を、数値以外で「見える化」できないか。この難問に取り組んだのが映像作家・加賀谷雅道さん。東京大学名誉教授・森敏さんの協力を得て、本来、生化学、分子生物学の研究で使われるオートラジオグラフィという設備を使い、東京電力福島第一原発事故被災地から集めた動植物、生活用品など被写体からの放射線を可視化しました。重大事故から7年、「終わったこと」「なかったこと」にしないために、もの言わぬものたちの静かな抗議に目を凝らしたいものです。会場では、作品30点のほか、3D映像やメイキングビデオもご覧いただけます。



加賀谷雅道さん プロフィール

1981年生まれ。早稲田大学理工学部卒業後、フランスで写真を学ぶ。2012年から放射線像プロジェクトを開始。一連の作品は国内外で反響を呼び、日本はもとより、世界各地で招待展示。「京都国際写真祭2017」でFujifilm Award受賞。著書に「放射線像」(共著/森敏、皓星社)など。

ギャラリートーク「被ばくの原因物質と向き合う」映像作家・加賀谷雅道さん
4月1日回 午前11時～、午後2時～

軍手
飯館村長泥
(2013年10月)
放射線量: 1500cpm

これで歩くる??

見えないものを、見る。

3/28(水)
→4/5(木)

午前10時～午後5時
(ただし、3月28日(水)のみ、午後8時まで)

関連ミニイベント

オープニングナイト
トーク



「放射線像から見えるもの」

アーサー・ビナードさん
(詩人・絵本作家)

3月28日(水) 午後6時～
1階展示室

サタデートーク

「文学のヒロシマ」

金田文雄さん

(広島女学院大学国際教養学部教授)

3月31日(土) 午前11時～
地階「公文庫」

平和を願うギター
コンサート

～被爆ギターの音色も交えて～

4月1日(日) 正午～

1階展示室

演奏: 石原圭一郎さん

(ギタリスト、広島ギター協会会長)

「鳥の歌」「ラグリマ」「祈り」ほか

「子ども被災者支援基金」
を応援します。

「12人の絵本作家
が描く おうえん
カレンダー2018」
原画展

3月28日(水)～4月5日(木)

1階展示室

出品作家: スズキコージ、

長谷川義史、降矢なな、

市居みか ほか

ドキュメンタリー映画

岩崎雅典 監督作品

「福島 生きものの記録
シリーズ5 ～追跡～」

(群像舎 2017年 95分)

上映: 随時

第6回 ひろしま・ふくしまを結ぶ もみのきイベント2018

「放射線像」
加賀谷雅道 写真展

展示とトーク

[入場無料]

in 旧日本銀行広島支店 (被爆建物・
広島市指定重要有形文化財) 袋町電停前

主催: 福島と広島をつなぐ、もみのきの会 後援: 中国新聞社・広島市教育委員会

これで歩くる??

長ぐつ
浪江町大堀 (2013年10月)
放射線量: 260cpm

スペシャルトーク



■3月31日(土)
午後2時～
■地階「公文庫」
特設会場
■入場無料
■先着80名

子どもの本作家

西内ミナミさん

「わたしの絵本づくりと
見て! フクシマ」

Profile

1938年生まれ。東京女子大学文学部卒業後、博報堂にコピーライターとして勤務。1965年に画家の堀内誠一さんとの出会いにより出版された「ぐるんぱのようちえん」(絵/堀内誠一、福音館書店)は50余年にわたり親子三代に読み継がれるロングセラーとなる。永年、子どもの読書推進活動にも力を注ぎ、今日に至っている。「おもいついたら そのときに!」(絵/にしまかやこ、こぐま社)、「こぶたのぶーぶ」(絵/真島節子、福音館書店)など、著書多数。



福島と広島をつなぐ、もみのきの会

【お問い合わせ】082(961)5770 (卸センター・もみのき保育園内)

ホームページ <http://mominokinokai.main.jp/> ※詳しくはお問い合わせください。